

めあて

はじめた時間 :

☆ 動詞の種類が、be動詞か一般動詞かによって、否定文の作り方が、  
変わる。

① be動詞の場合

be動詞のあとにnotを置く。

例 【肯定文】 You are Tanaka. あなたは田中です。

【否定文】 You are not Tanaka. あなたは田中ではありません。

☆ are not = aren't is not = isn'tのように省略して書くことができる

② 一般動詞で主語が3人称単数現在形でない(動詞にsがない)場合

一般動詞の前にdon'tを置く。

例 【肯定文】 You like baseball. あなたは野球が好きです。

【否定文】 You don't like baseball. あなたは野球が好きですか？

☆ don't は do not を略した形である。

③ 一般動詞で主語が3人称単数現在形(動詞にsがつく)の場合

一般動詞の前にdoesn'tを置き、一般動詞を原形にする。

例 【肯定文】 Tanaka likes baseball. 田中は野球が好きです。

【否定文】 Tanaka doesn't like baseball.

田中は野球が好きではありません。

☆ doesn't は does not を略した形である。

ふりかえり

おえた時間 :